

はじめに

令和6年度版「目黒区の健康福祉」を刊行いたします。

本書は、令和5年度中における保健・医療・福祉事業の概要と実績をまとめたものです。

目黒区は、緑が多く閑静な住宅地が広がる一方で、中目黒や自由が丘など全国的に知られる商業地がある魅力的な場所です。人口約28万人、高齢化率20%弱、23区の中で16番目の面積に、さまざまな区民が多様な暮らし方をしています。その中には、新型コロナウイルス感染症拡大により生活困窮となった世帯、地域における人間関係の構築が難しくなり社会的に孤立した人々など、支援を必要としている区民がいます。

制度や分野ごとに分かれた縦割り支援ではなく、福祉のさまざまな相談を受け止め、寄り添い解決に向けてサポートしていく総合相談窓口「福祉のコンシェルジュ」では、「ふくしの相談」「くらしの相談」に加えて、令和4年度からは「住宅確保要配慮者」を対象に生活支援と一体的に住宅確保や転居の相談支援を行う「住まいの相談」を、令和5年度からは専門の相談支援員を配置し、オンライン相談等による「ひきこもりの相談」を開始しました。さらに、重層的支援体制整備事業の移行準備事業として令和3年度から社会福祉協議会に配置したコミュニティ・ソーシャルワーカー（CSW）も精力的にアウトリーチによる相談支援や地域づくりに取り組むなど、関係機関が一体となり地域福祉の増進に努めてまいりました。このほか、学童保育クラブの拡充整備に加え、南部・西部に1か所ずつ住区センター内に児童館を整備するなど放課後等の子どもの居場所づくりの推進などの事業を展開しています。

令和5年度は、令和3年度に策定した目黒区基本計画(令和4~13年)が目指す「さくら咲き 心地よいまち ずっと めぐろ」を踏まえて目黒区保健医療福祉計画、目黒区介護保険事業計画及び目黒区障害者計画を改定し、引き続き区民の皆様が安全・安心して豊かな生活を送ることができるよう、努めてまいりました。

今後とも、年齢や性別、生活環境などに関わらず、だれもが、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるよう、「地域共生社会」の実現に全力で取り組んでまいります。

この「目黒区の健康福祉」を、本区の健康福祉、子育て支援の現状をとらえる一助としてご活用いただければ幸いと存じます。

令和6年8月

目黒区健康福祉部・子育て支援部

【凡　例】

各事業の担当所属は、令和6年4月1日時点の情報で掲載しています。